

表

青少年に関する相談連絡機関「ユースプラザ」

内 容	相談機関	住 所	時 間	電話番号
お悩みごとを 身近な場所で 気軽に相談 おむね15歳から 39歳までの子ども・ 若者とその保護者 ※必ず予約	ユースプラザEAST 【541-1040】	船場町のち・東1940 センター別館 (船場町2-5-35)	火～土 9時～21時	072-628-6993
	ユースプラザWEST 【455-0100】	船場のち・東1940 センター別館 (船場町15-10-28)	火～土 9時～21時	080-9807-5051 080-4973-3681
	ユースプラザSOUTH 【455-0100】	船場のち・東1940 センター別館 (船場町15-10-28)	月～金・土 9時～21時	072-655-3761
	ユースプラザNORTH 【455-0100】	船場のち・東1940 センター別館 (船場町15-10-28)	月～金・土 9時～21時	072-655-1621
	ユースプラザCENTER	船場のち・東1940 センター別館 (船場町15-10-28)	火～土 9時～21時	072-655-1621

青少年に関する相談連絡機関 「まずは電話で相談できます！」

内 容	相談機関	時 間	電話番号
教育に関する悩み相談	茨木児童センター 電話教育相談	月～金 9時～17時	072-625-7830
「いじめ」に対する相談	茨木児童センター 「いじめ」ホット電話相談	月～金 9時～17時	072-627-5511 0120-147970
すこやかホットライン	大塚児童センター	月～金 9時30分～17時30分	050-507-7361 (24時間) 050-507-7362
24時間子供SOSダイヤル 【子ども専用】子どもの悩み相談フリーダイヤル	大塚児童センター	24時間 365日	0120-0-78310
子どもの心身の健康 発達障害フリーダイヤル	大塚児童センター	24時間 365日	0120-7285-25
少年非行に関する相談、 少年の立ち回りの支援 (相談支援)	茨木少年 サポートセンター	月～金 9時～17時45分	072-625-6677
犯罪や非行に関する相談	茨木市警察 サポートセンター	月～金 10時～16時	072-620-6310
子どもの発達に関する 悩みや相談	茨木市警察 サポートセンター	月～金 10時～16時	06-6369-3526
児童虐待に関する相談 児童虐待相談ダイヤル	茨木市警察 サポートセンター	24時間 365日	189 (無料) 0120-189-783
児童虐待に関する相談 児童虐待相談ダイヤル	茨木市警察 サポートセンター	24時間 365日	072-624-6951
子どもの発達に関する 悩みや相談	茨木市警察 サポートセンター	月～金 10時～16時	072-624-0961
少年非行に関する相談	茨木市警察 サポートセンター	月～金 10時～16時	072-625-6100
子どもの発達に関する 悩みや相談	茨木市警察 サポートセンター	月～金 10時～16時	072-622-1234
少年非行に関する相談	茨木市警察 サポートセンター	月～金 10時～16時	072-624-1999

身近な相談員 一人で悩まず相談しよう

SC・SSW

主任児童委員

CSW

（この場合）
お問い合わせ先：茨木市教育委員会 教育総務部 社会教育振興課
TEL 072-622-5180 FAX 072-622-0958
ホームページ: <http://www.city.ibaraki.osaka.jp>
Eメール: seisyonen@city.ibaraki.lg.jp

両面について、背景、タイトル等の色合を変更します。

相談機関について、内容を確認、更新します。

令和8年度（2026年度）版
令和8年（2026年）3月現在
という文言に更新します。

裏

青少年健全育成のための行事








市内各地域において、青少年健全育成に関する行事や研修会などが実施されています。
子どもを守るネットワークを広げるために、ぜひご参加ください。

いま伸びよう 茨木の未来をひろく青少年
見守ろう わが子 ひとの子 みんなの子

子どもの発するSOSのサイン

こんなサインがあります

悩みやストレスが大きくなると、子どもたちの生活や行動に様々なサインが現れます。
何気ない、日常の生活や体調・行動が変わった、と感じたら、それは子どものSOSのサインかも知れません。

家庭で

- 夜更かしが多い、朝なかなか起きられない
- 食欲がない、または食べ過ぎる
- 顔色が悪い、よく体調不良を訴える
- 外出をしたがらない、独り言がふえる

学校や地域で

- ひとりで行動していることが多い
- 行事や活動に参加しなくなった
- 夜遅くに外出している

ネット世界で

- 夜遅くまでケータイ・スマホ等をさわっている
- ケータイ・スマホ等が手元にないと、落ち着きがなくなる
- ネットで何をしているかを隠そうとする
- SNSに過剰に反応する

SOSをキャッチしたら

まずは身近な大人の声かけから

子どものSOSのサインをキャッチしたら、まずは子どもへの「声かけ」や「言葉かけ」から始めましょう。
一人だけで考えず、家族や地域の大人で話してみても、子どもを変える力になります。

家庭では

「おはよう」「おやすみ」「どうだったの？」「お疲れなさい」などの毎日の言葉かけが大切です。また、家族そろって食事をすることや規則正しい生活をする中で、子どものSOSに気づきやすくなります。

学校や地域では

出会ったときのあいさつや声かけで、ふだんの関係づくりを心がけましょう。
気になる発言や行動があれば、保護者や周りの友達、活動に関わる指導者・先生などに聞いてみることも大切です。

インターネット内では

表からは見えにくい部分ですが、自撮り画像や、安易な気持ちで送った思ふき画像の流出、また、ネットで知り合った人を簡単に使用し、取り返しのつかないトラブルにあったことがどうすれば良いかわからず困っている場合があります。日ごろからインターネットに関する話題などを話しておくことも大切です。

子どものSOSに気が付いたときの相談連絡機関があります(裏面)

いくつかの写真を更新します。